

7. 受賞等

ここでは、気象研究所の職員が平成 29 年度に他機関から受けた表彰、及び取得した学位の一覧を掲載している。

受賞には、受賞者の氏名、賞の名称、表彰した機関名、表彰年月日を掲載している。

学位取得には、学位取得者の氏名、学位名、学位授与大学、取得年月日及び学位取得の対象となった論文名を掲載している。

7. 1. 受賞

荒木健太郎	日本雪氷学会関東・中部・西日本支部活動賞、(公社) 日本雪氷学会、平成 29 年 5 月
庭野 匡思	日本雪氷学会平田賞、(公社) 日本雪氷学会、平成 29 年 9 月
大野木和敏	日本気象協会岡田賞、(財) 日本気象協会、平成 29 年 10 月
小寺 祐貴	日本地震工学会優秀発表賞、(公社) 日本地震工学会、平成 29 年 11 月
小司 禎教	EPS 2017 Highlighted papers、Earth, Planets and Space、平成 30 年 2 月
小林 昭夫	日本地震学会論文賞、(公社) 日本地震学会、平成 30 年 3 月
弘瀬 冬樹	日本地震学会論文賞、(公社) 日本地震学会、平成 30 年 3 月
宮岡 一樹	日本地震学会論文賞、(公社) 日本地震学会、平成 30 年 3 月

7. 2. 学位取得

川合秀明

学 位：博士（理学）（京都大学、平成 29 年 5 月 23 日）

学術論文：Study on Marine Boundary Layer Clouds and Their Environment for Cloud

Parameterizations in Global Climate Models（全球気候モデルの雲パラメタリゼーションのための海洋性境界層とその環境場に関する研究）

嶋田宇大

学 位：博士（環境科学）（北海道大学、平成 29 年 12 月 25 日）

学術論文：An observational study of tropical cyclone intensity estimation, intensity change processes, and intensity forecast（熱帯低気圧の強度推定、強度変化プロセス及び強度予報に関する観測的研究）

遠藤洋和

学 位：博士（環境科学）（筑波大学、平成 30 年 3 月 23 日）

学術論文：Future Changes in Monsoon Precipitation and Their Uncertainty Projected by Global Climate Models（気候モデルを用いたンスー地域の降水将来変化と予測不確実性に関する研究）

小林ちあき

学 位：博士（理学）（東北大学、平成 30 年 1 月 24 日）

7. 受賞等

7.1. 受賞

7.2 学位取得

学術論文：Interannual variation of tropospheric zonal mean state and mean meridional circulations（対流圏帯状平均場と平均子午面循環の年々変動）

8. 研究交流

ここでは、気象研究所の職員が平成 29 年度に外国出張等により出席・参加した海外で行われた国際会議・研究集会・講演、気象研究所が平成 29 年度に他機関から受け入れた研究者、及び海外研究機関からの来訪者の一覧を掲載している。

8.1. 外国出張等

- | | |
|-------|---|
| 青梨和正 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州気象衛星開発機構 (EUMETSAT) 気象衛星会議 2017 出席, イタリア, H29. 10. 1 ~ 8 ・ 降水観測計画 (PMM) サイエンスチーム会合への出席, アメリカ, H29. 10. 15 ~ 22 |
| 足立アホロ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象レーダー及び水文学に関する国際シンポジウムへの出席, 韓国, H29. 4. 9 ~ 14 ・ JICA 技術協力プロジェクト「スリランカ国気象観測・予測・伝達能力向上プロジェクト」における気象観測 (QPE, QPF) に関する技術指導, スリランカ, H29. 7. 23 ~ 27 ・ 気象レーダーの校正・監視ワークショップへの出席および発表, ドイツ, H29. 10. 16 ~ 22 |
| 足立光司 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 北極圏の雪氷圏変動メカニズム解明に資する放射・エアロゾル観測及び機器更新, ノルウェー, H29. 9. 5 ~ 17 ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10 ~ 17 ・ 極域大気エアロゾル生成機構解明に資する航空機観測のためのドイツ・ブレーメン空港での機器設置作業, ドイツ, H29. 2. 20 ~ 3. 4 |
| 足立 透 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 38 回レーダー気象会議への出席及び発表, アメリカ, H29. 8. 27 ~ 30 |
| 石井憲介 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際火山学及び地球内部科学協会 2017 年学術総会 (IAVCEI2017) への出席, アメリカ, H29. 8. 13 ~ 20 ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10 ~ 13 |
| 石井雅男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2017 年統合海洋生物圏研究 (IMBeR) 科学推進委員会への出席, 中国, H29. 4. 22 ~ 26 ・ 第 10 回二酸化炭素国際会議 (ICDC10) への出席, スイス, H29. 8. 20 ~ 27 ・ 第 6 回全球海洋観測システム (GOOS) 運営委員会への出席, タイ→シンガポール, H29. 9. 10 ~ 14 ・ 2018 年海洋科学会合等出席, アメリカ, H30. 2. 10 ~ 16 ・ 全球海洋観測システム (GOOS) 専門家パネル合同会議及び国際海洋炭素観測連携計画 (IOCCP) 執行委員会への出席, オーストラリア, H30. 2. 25 ~ 3. 4 |
| 石井正好 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域水位変動及び沿岸影響の国際会合並びに海面フラックス強制結合モデル比較実験 (FAFMIP) 会合への出席, アメリカ, H29. 7. 9 ~ 20 ・ 第 4 回地球システムモデリング国際会合への参加, ドイツ, H29. 8. 27 ~ 9. 3 |
| 石田春磨 | <ul style="list-style-type: none"> ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機 |

- 器設置（ハワイ島），アメリカ，H29. 9. 28～10. 4
- ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計の比較と保守（中国），中国，H29. 10. 13～15
 - ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器の撤収（ハワイ島），アメリカ，H29. 11. 6～10
- 石元裕史
- ・ 欧州気象衛星開発機構（EUMETSAT） 気象衛星会議 2017 出席，イタリア，H29. 10. 1～8
- 伊藤純至
- ・ 第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合(AOGS2017)への出席，シンガポール，H29. 8. 5～12
 - ・ 第12回メソ対流系と極端気象に関する国際会議への出席，台湾，H29. 10. 16～19
- 今田由紀子
- ・ 第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合(AOGS2017)への出席，シンガポール，H29. 8. 5～12
 - ・ 気候変動の検出と原因特定に関する国際グループの年次総会への出席，アメリカ，H29. 3. 12～17
- 碓氷典久
- ・ 第19回太平洋アジア縁辺海会議への出席，韓国，H29. 4. 10～13
 - ・ 第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合(AOGS2017)への出席，シンガポール，H29. 8. 6～12
- 浦川昇吾
- ・ 2018年海洋科学会合等出席，アメリカ，H29. 2. 11～18
- 大島 長
- ・ 全球エアロゾル大気輸送の解明に資するグリーンランドでのエアロゾル地上観測および研究打ち合わせ，デンマーク，H29. 6. 5～7. 5
 - ・ 北極評議会/北極圏監視評価プログラム作業部会/短寿命気候強制力因子専門家グループ会合への出席，フィンランド，H30. 1. 28～2. 2
- 岡本幸三
- ・ ハイパースペクトル静止衛星観測同化会合への出席，イギリス，H29. 5. 21～27
 - ・ 第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合(AOGS2017)への出席，シンガポール，H29. 8. 6～12
 - ・ 欧州気象衛星開発機構（EUMETSAT） 気象衛星会議 2017 出席，イタリア，H29. 10. 1～8
 - ・ 第21回国際 TOVS 研究会議への出席，ドイツ，H29. 11. 28～12. 7
- 小木曾仁
- ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会（AGU fall meeting 2017）への出席，アメリカ，H29. 12. 10～17
- 尾瀬智昭
- ・ 第6回 WMO モンスーン国際ワークショップへの出席，シンガポール，H29. 11. 11～18
 - ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会（AGU fall meeting 2017）への出席，アメリカ，H29. 12. 10～17
- 小山 亮
- ・ 第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合(AOGS2017)への出席，シンガポール，H29. 8. 6～12
 - ・ 欧州気象衛星開発機構（EUMETSAT） 気象衛星会議 2017 出席，イタリア，H29. 10. 1～6
- 折笠成宏
- ・ アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム（UAEREP）に係る日本-UAE 往復間フェリー飛行及び UAE 上空飛行による航空機観測，ベトナム，H29. 8. 22～10. 1
 - ・ アメリカ気象学会（AMS）第98回年次会合への参加，アメリカ，H29. 1. 7～13

- ・ 第2回アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム (UAEREP) 国際フォーラムへの出席及び UAEREP に係るシーディング有効雲観測のための観測機器撤収, アラブ首長国連邦, H29. 1. 16~24
- 梶野瑞王 ・ ブレーズ・パスカル大におけるエアロゾル・雲相互作用に関する共同研究およびフランス放射線防護・原子力安全研究所 (IRSN) 訪問, フランス, H29. 9. 18~11. 11
- 川合秀明 ・ 気象気候モデル系統誤差に関する第5回数値実験作業部会 (WGNE) ワークショップ参加, カナダ, H29. 6. 18~25
- ・ 「積雲対流パラメタリゼーションの将来に関するワークショップ」への参加, オランダ, H29. 7. 9~16
- ・ 「全球大気システム研究 (GASS) 第2回全体会議」への参加, オーストラリア, H29. 2. 24~3. 3
- 川口亮平 ・ 国際火山学及び地球内部科学協会 2017 年学術総会 (IAVCEI2017) への出席, アメリカ, H29. 8. 13~20
- 川瀬宏明 ・ 第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2017) への出席, シンガポール, H29. 8. 6~12
- ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10~17
- 川畑拓矢 ・ 第6回データ同化に関する国際シンポジウムへの出席, ドイツ, H29. 3. 4~11
- 楠 昌司 ・ 力学的ダウンスケーリングを応用したパナマ地域における気候変動研究に関する国際ワークショップへの出席, パナマ, H29. 9. 15~10. 2
- ・ 第2回アジア気象会議への出席, 韓国, H29. 10. 22~25
- ・ 第6回 WMO モンスーン国際ワークショップへの出席, シンガポール, H29. 11. 11~18
- ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第98回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 6~13
- 工藤 玲 ・ EarthCARE Joint Mission Advisory Group (JMAG) への参加、及び国際レーザーレーダー会議 (ILRC) への参加及び発表, オランダ, H29. 6. 21~7. 2
- ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器の撤収 (ハワイ島), アメリカ, H29. 11. 6~10
- 黒田友二 ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H29. 4. 21~30
- ・ 太陽活動の気候への影響及び高エネルギー粒子の大気流入に関する国際活動ワークショップ出席等, フランス, H29. 11. 5~12
- 小泉 耕 ・ 欧州中期予報センター (ECMWF) 四次元変分法シンポジウムでの招待講演, イギリス, H29. 1. 24~28
- 小杉如央 ・ 第10回二酸化炭素国際会議 (ICDC10) への出席, スイス, H29. 8. 20~27
- 小寺祐貴 ・ 韓国での「9月12日地震1周年ワークショップ」への出席, 韓国, H29. 9. 10~13
- ・ アメリカ地質調査所での地震動即時予測に関する意見交換と議論, アメリカ, H29. 9. 17~24
- ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10~17
- 小林ちあき ・ 成層圏・対流圏の諸過程とその気候影響研究計画 (SPARC) 再解析比較プロジェクト (S-RIP) ワークショップ 2017 及び第13回 SPARC データ同化 (DA) ワークショップ

- 出席, イギリス, H29. 10. 22~29
- ・ 第5回再解析国際会議への出席, イタリア, H29. 11. 12~19
- 財前祐二
- ・ アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム (UAEREP) に係る UAE 上空飛行による航空機観測, アラブ首長国連邦, H29. 8. 25~9. 27
- 齊藤和雄
- ・ 気象気候モデル系統誤差に関する第5回数値実験作業部会 (WGNE) ワークショップ参加, カナダ, H29. 6. 18~25
 - ・ 国際海洋物理科学協会 (IAPSO)、国際気象学・大気科学協会 (IAMAS)、国際地球電磁気・超高層物理学協会 (IAGA) 合同学会 2017 への参加, 南アフリカ, H29. 8. 25~9. 4
 - ・ 中山大学での数値予報ワークショップへの参加等, 中国, H30. 3. 7~10
- 齊藤直彬
- ・ 2018 年海洋科学会合等出席, アメリカ, H30. 2. 10~18
- 酒井 哲
- ・ 温室効果ガス観測技術衛星 2 号 (GOSAT-2) データの高精度化に資するライダー装置の保守・調整及び試験観測及び打ち合わせ, フィリピン, H29. 9. 24~10. 4
 - ・ 温室効果ガス観測技術衛星 (GOSAT) データの高精度化に資するライダー装置の保守・調整, ニュージーランド, H29. 11. 12~19
- 坂本 圭
- ・ 2018 年海洋科学会合等出席, アメリカ, H29. 2. 11~18
- 佐藤英一
- ・ 国際火山学及び地球内部科学協会 2017 年学術総会 (IAVCEI2017) への出席, アメリカ, H29. 8. 13~20
- 澤 庸介
- ・ アメリカ海洋大気庁地球システム研究所全球モニタリング会合 2017 への出席, アメリカ, H29. 5. 21~26
 - ・ 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H29. 8. 1~2
 - ・ 第10回二酸化炭素国際会議 (ICDC10) 及び第19回温室効果ガスとその測定に関する会合 (GGMT-2017) への出席, スイス, H29. 8. 20~9. 2
 - ・ 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H29. 10. 24~25
 - ・ 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H29. 1. 23~25
- 沢田雅洋
- ・ 第18回低気圧ワークショップへの参加, カナダ, H29. 10. 1~4
 - ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10~12
 - ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第98回年次会合への参加, アメリカ, H30. 1. 7~11
- 澤田洋平
- ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10~17
- 嶋田宇大
- ・ 独立行政法人国際協力機構 (JICA) ・ フィリピン大気地球物理天文局 (PAGASA) 合同気象ワークショップへの参加及び研究打合せ, フィリピン, H29. 4. 19~22
 - ・ 第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2017) への出席, シンガポール, H29. 8. 6~10
- 小司禎教
- ・ 第9回マルチ GNSS アジア (MGA) カンファレンスへの参加, インドネシア, H29. 10. 8~12

- 関山 剛 ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H29. 4. 22~30
- 高木朗充 ・ 国際火山学及び地球内部科学協会 2017 年学術総会 (IAVCEI2017) への出席, アメリカ, H29. 8. 13~18
- 高谷祐平 ・ 中国科学院 (CAS)・世界科学院 (TWAS)・世界気象機関 (WMO) 第 16 回共同フォーラム季節・10 年規模予測の進展に関する国際シンポジウムへの出席, 中国, H29. 9. 17~21
- ・ 全世界気候研究計画モデリング会合 (Pan-WCRP Modelling Groups Meeting) への出席, イギリス, H29. 10. 7~14
- ・ 第 6 回 WMO モンスーン国際ワークショップへの出席, シンガポール, H29. 11. 11~18
- ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10~17
- ・ 2018 年海洋科学会合等出席, アメリカ, H30. 2. 10~18
- 高薮 出 ・ 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第 6 次評価報告書スコーピング会合への出席, エチオピア, H29. 4. 29~5. 7
- ・ 第 2 回アジア気象会議への出席, 韓国, H29. 10. 22~25
- 田尻拓也 ・ アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム (UAERP) に係る UAE 上空飛行による航空機観測, アラブ首長国連邦, H29. 8. 25~9. 27
- ・ アメリカ気象学会 (AMS) 第 98 回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 7~13
- ・ 第 2 回アラブ首長国連邦降水強化科学プログラム (UAERP) 国際フォーラムへの出席及び UAERP に係るシーディング有効雲観測のための観測機器撤収, アラブ首長国連邦, H29. 1. 16~24
- 田中泰宙 ・ 世界気象機関 (WMO) 全球大気監視 (GAW) 2017 年シンポジウムへの出席, スイス, H29. 4. 9~14
- ・ 世界気象機関 (WMO) 全球大気監視 (GAW) モデル応用科学諮問部会第 2 回会合出席, アメリカ, H29. 6. 21~24
- ・ エーロゾル予測のための国際協力 (ICAP) 第 9 回ワーキンググループ会合出席, フランス, H29. 6. 25~30
- 谷川朋範 ・ グリーンランド氷床質量損失メカニズムの解明に資する気象・雪氷観測及び関連機関との研究協力打合せ, デンマーク, H29. 5. 14~7. 6
- ・ 北極圏の雪氷圏変動メカニズム解明に資する放射・エアロゾル観測及び機器更新, ノルウェー, H29. 9. 5~17
- ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10~17
- 溜瀧功史 ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10~17
- 辻野博之 ・ 全世界気候研究計画モデリング会合 (Pan-WCRP Modelling Groups Meeting) への出席, イギリス, H29. 10. 8~14
- 対馬弘晃 ・ 第 27 回国際津波シンポジウム (ITS2017) 及び国際津波委員会総会への出席, インドネシア, H29. 8. 20~24
- ・ アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 10~16

- 坪井一寛 ・ 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H29. 6. 27~28, 11. 21~22, H30. 2. 27~28
- 遠山勝也 ・ 第10回二酸化炭素国際会議(ICDC10)への出席, スイス, H29. 8. 20~27
- 豊田隆寛 ・ 極域海洋再解析相互比較プロジェクトワークショップへの参加及び研究打ち合わせ, スペイン, H29. 6. 6~11
- ・ 海洋再解析と相互比較ワークショップへの参加, フランス, H29. 6. 26~7. 3
- 仲江川敏之 ・ 力学的ダウンスケーリングを応用したパナマ地域における気候変動研究に関する国際ワークショップへの出席, パナマ, H29. 9. 15~10. 1
- ・ タイにおける力学的ダウンスケール実験及び影響評価に関する研究打ち合わせ, タイ, H30. 2. 7~15
- 南雲信宏 ・ 第38回レーダー気象会議への出席及び発表, アメリカ, H29. 8. 27~9. 3
- 丹羽洋介 ・ 第10回二酸化炭素国際会議(ICDC10)への出席, スイス, H29. 8. 20~27
- 庭野匡思 ・ グリーンランド氷床質量損失メカニズムの解明に資する気象・雪氷観測及び関連機関との研究協力打合せ, デンマーク, H29. 5. 14~7. 5
- ・ 雪氷中における融解水移動のモデリングに関する研究集会への参加, デンマーク, H29. 9. 17~24
- ・ グリーンランド氷床質量損失メカニズムの解明に資する気象・雪氷観測及びデンマーク・グリーンランド地質調査所 GEUS への訪問, デンマーク, H29. 3. 18~5. 6
- 野坂真也 ・ 2018年海洋科学会合等出席, アメリカ, H29. 2. 11~17
- 橋本明弘 ・ アメリカ気象学会(AMS)第98回年次会合への参加, アメリカ, H29. 1. 7~13
- 原田やよい ・ 成層圏・対流圏の諸過程とその気候影響研究計画(SPARC)再解析比較プロジェクト(S-RIP)ワークショップ2017及び第13回SPARCデータ同化(DA)ワークショップ出席, イギリス, H29. 10. 22~29
- ・ 第5回再解析国際会議への出席, イタリア, H29. 11. 12~19
- 広瀬成章 ・ 全球海洋データ同化実験海洋外観プロジェクト(GOV)国際サマースクール「現業海洋学のニューフロンティア」への参加, スペイン, H29. 10. 1~14
- ・ 2018年海洋科学会合等出席, アメリカ, H29. 2. 11~18
- 藤井陽介 ・ 第9回海洋モデリング国際ワークショップへの出席, 韓国, H29. 7. 2~6
- ・ 中国科学院(CAS)・世界科学院(TWAS)・世界気象機関(WMO)第16回共同フォーラム季節・10年規模予測の進展に関する国際シンポジウムへの出席, 中国, H29. 9. 17~21
- ・ 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクトデータ同化タスクチーム及び観測システム評価タスクチーム共同会合への出席, イタリア, H29. 10. 9~15
- ・ 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト第8回サイエンスチーム会合への出席, ノルウェー, H29. 11. 5~12
- ・ 海面水温・海氷解析と予報に関するワークショップへの出席, イギリス, H29. 1. 21~27
- 干場充之 ・ アメリカ地震学会2017年大会への出席, アメリカ, H29. 4. 17~23
- ・ 第4回国際地震・都市化ワークショップへの出席, トルコ, H29. 8. 15~20
- ・ 韓国での「9月12日地震1周年ワークショップ」への出席, 韓国, H29. 9. 10~13
- ・ アメリカ地質調査所での地震動即時予測に関する意見交換と議論, アメリカ, H29.

9. 17～24

- ・アメリカ地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2017) への出席, アメリカ, H29. 12. 12～18
- 堀田大介 ・第6回データ同化に関する国際シンポジウムへの出席, ドイツ, H29. 3. 4～11
- 眞木貴史 ・第9回 GOSAT 研究公募研究代表者会議 (GOSAT RA PI 会議) および第13回宇宙からの温室効果ガスに関する観測ワークショップ (IWGGMS-13) への出席, フィンランド, H29. 6. 5～11
- ・第10回二酸化炭素国際会議 (ICDC10) への出席, スイス, H29. 8. 20～28
- ・イラン砂塵嵐予報モデルの活用に関する能力構築支援研修, イラン, H29. 10. 15～20
- ・第10回日中韓黄砂共同研究下の黄砂観測と早期警戒システムの構築作業部会会合への参加, 中国, H29. 11. 8～11
- 村田昭彦 ・第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2017) への出席, シンガポール, H29. 8. 6～12
- 安田珠幾 ・全世界気候研究計画モデリング会合 (Pan-WCRP Modelling Groups Meeting) への出席, イギリス, H29. 10. 8～14
- 柳瀬 亘 ・第18回低気圧ワークショップへの参加, カナダ, H29. 10. 1～8
- 山口宗彦 ・2017年アジア太平洋経済協力 (APEC) 台風シンポジウム (APTS) への出席, 台湾, H29. 5. 1～5
- ・世界天気研究計画 (WWRP) 予測可能性・力学過程及びアンサンブル予報に関する作業部会第3回会合への出席、及びチューリッヒ工科大学における台風研究に関する調査・意見交換, スイス, H29. 7. 2～8
- ・ヨーロッパ中期予報センター (ECMWF) 年次セミナー参加およびアンサンブル予報に関する調査・意見交換, イギリス, H29. 9. 6～16
- ・世界気象機関 (WMO) 大気科学委員会第17回会合等への出席, インドネシア, H29. 10. 19～27
- 山崎明宏 ・エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器設置 (ハワイ島), アメリカ, H29. 9. 28～10. 4
- ・エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計の比較と保守 (中国), 中国, H29. 10. 13～11. 1
- 山中吾郎 ・2018年海洋科学会合等出席, アメリカ, H30. 2. 11～18
- 山本 哲 ・第25回国際科学史会議参加, ブラジル, H29. 7. 22～31
- 横田 祥 ・第38回レーダー気象会議への出席及び発表, アメリカ, H29. 8. 27～9. 3
- ・第6回データ同化に関する国際シンポジウムへの出席, ドイツ, H29. 3. 4～11
- 吉田康平 ・第4回地球システムモデリング国際会合への参加, ドイツ, H29. 8. 27～9. 3
- ・上部対流圏下部成層圏の現状と課題に関するワークショップ参加, ドイツ, H30. 2. 4～10
- 吉田 智 ・第32回国際電波科学連合科学シンポジウム (URSI GASS) への参加, カナダ, H29. 8. 20～27
- 和田章義 ・独立行政法人国際協力機構 (JICA)・フィリピン大気地球物理天文局 (PAGASA) 合同気象ワークショップへの参加及び研究打合せ, フィリピン, H29. 4. 19～22

- ・ 第14回アジア・大洋州地球科学会年次会合(AOGS2017)への出席, シンガポール, H29.
8. 6～10

8.2. 受入研究員等

客員研究員

当所の研究の効率的な推進に資することを目的とし、当該研究に関する高度の専門知識を有し、当該研究を円滑に実施する能力がある研究者を客員研究員として受け入れている。平成29年度は次の48名を受け入れた（外国人特別研究員制度による受入を除く）。

宇野史睦

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

大竹秀明

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

伊藤耕介

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

大泉 伝

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

Le Duc

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

福井 真

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」、
「防災・減災に資する気象・気候・環境予測」、共同研究（海洋研究開発機構）「観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化」

受入研究部：予報研究部

上野 玄太

期 間：H29. 9. 25～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」、
科学研究費助成事業（基盤研究B）「粒子フィルタを用いた積乱雲の発生・発達に関する不確実性の解明」

受入研究部：予報研究部

村上正隆

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究
(名古屋大学)「乾燥・半乾燥地域における降水強化の先端的研究」

受入研究部：予報研究部

野田 彰

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、科学研究
費助成事業「等温位/等密度座標に基づく大気/海洋大循環の解析」

受入研究部：気候研究部

野口峻祐

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「季節予報の高度化と異常気象の要因解明に関する研究」

受入研究部：気候研究部

内山明博

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「放射収支の監視システムの高度化と気候変動要因解明に関する研究」、
地球環境保全等試験研究費「分光日射観測とデータ同化によるエアロゾル・雲の
地表面放射収支に与える影響監視に関する研究」

受入研究部：気候研究部

鬼頭昭雄

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究
(筑波大学)「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：気候研究部

杉 正人

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究
(海洋研究開発機構)「観測ビックデータを活用した気象と地球環境の予測の高度
化」、「複数の次世代非静力学全球モデルを用いた高解像度台風予測実験」

受入研究部：気候研究部

相澤拓郎

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、北極域研
究推進プロジェクト(文部科学省)「データ同化モデルの開発・解析を通じた北極

域の中期気候予測に関する研究」

受入研究部：気候研究部

岡田靖子

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、気候変動
適応技術社会実装プログラム（文部科学省）「近未来予測課題」

受入研究部：気候研究部

村上裕之

期 間：H30. 1. 29～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、統合的気
候モデル高度化研究プログラム（文部科学省）テーマC「統合的気候変動予測」

受入研究部：気候研究部

伊藤瑠衣

期 間：H29. 12. 19～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、統合的気
候モデル高度化研究プログラム（文部科学省）テーマC「統合的気候変動予測」

受入研究部：気候研究部

青木輝夫

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「雪氷物理過程の観測とモデル化による雪氷圏変動メカニズムの解明」、
地球環境保全等試験研究費「光吸収性エアロゾルの監視と大気・雪氷系の放射収
支への影響評価 ―地球規模で進行する雪氷圏融解メカニズムの解明に向けて
―」

受入研究部：気候研究部

島田利元

期 間：H29. 11. 24～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「雪氷物理過程の観測とモデル化による雪氷圏変動メカニズムの解明」、
宇宙航空研究開発機構地球環境変動観測ミッション「GCOM-C/SGLI による雪氷ア
ルゴリズムの高度化・新規開発、及び地上観測と数値モデルによる検証・校正に
関する研究」

受入研究部：気候研究部

中澤哲夫

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」、科学研究費助成
事業（基盤研究S）「豪雨と暴風をもたらす台風の力学的・熱力学的・雲物理学的
構造の量的解析」

受入研究部：台風研究部

金田幸恵

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」、科学研究費助成事業（基盤研究C）「台風強度予測精度向上のための台風強化停止プロセスの解明」

受入研究部：台風研究部

佐藤信夫

期 間：H29. 6. 26～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」、科学研究費助成事業（基盤研究B）「南西諸島とフィリピンのドップラーレーダーを用いた台風の構造と強度の関係解明」

受入研究部：台風研究部

柴田清孝

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

板橋秀一

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、環境研究総合推進費「SLCP の環境影響評価と削減パスの探索による気候変動対策の推進」

受入研究部：環境・応用気象研究部

弓本桂也

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

藤部文昭

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「環境要因による局地気候変動のモデル化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

栗原和夫

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

日比野研志

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

渡邊俊一

期 間：H29. 7. 25～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、統合的気候モデル高度化研究プログラム(文部科学省)テーマC「統合的気候変動予測」

受入研究部：環境・応用気象研究部

宮坂貴文

期 間：H29. 9. 11～H30. 3. 3

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、科学研究費助成事業（基盤研究A）「日本周辺の海面水温場が局所的な豪雨・豪雪の予測可能性に与える影響の定量的評価」

受入研究部：環境・応用気象研究部

佐藤陽祐

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

猪俣弥生

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、環境総合推進費「PM2.5の成分組成、酸化能、呼吸器疾患ハザードとそのモデル予測に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

西澤誠也

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

萩野谷成徳

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

真野裕三

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

増田一彦

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、宇宙航空研究開発機構地球環境変動観測ミッション「改良粒子散乱モデルを用いた氷雲・エアロゾル解

析手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

石原正仁

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

小林隆久

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

内野 修

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、科学研究費助成事業（基盤研究B）「局地的大雨予測のための可搬性に優れた次世代型水蒸気ライダーの開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

新井健一郎

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

石津尚喜

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

小野村史穂

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

藤原忠誠

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（ＪＲ東日本）
「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測
手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

吉川澄夫

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

石崎 廣

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「海洋モデルの高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

倉賀野連

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「沿岸海況予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

横内陽子

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

齊藤 尚子

期 間：H29. 4. 1 ～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

リサーチアソシエイト

当該研究に関する高度な専門知識を有し、当所研究の効率的な推進に資することを目的とし、人材派遣会社との契約により気象研究所に派遣される研究支援者のうち、所長の承認を受けた者について「リサーチアソシエイト」の呼称を用いることができるとしている。平成 29 年度は次の 6 名について承認した。

郭 子仙

期 間：H29. 4. 3～H30. 3. 30

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

山本広志

期 間：H29. 4. 3～H30. 3. 30

研究課題名：環境研究総合推進費「歴史的海洋表層水温観測データの再整備とその気候学的評価」

受入研究部：気候研究部

Ping Pui (Joseph) Ching

期 間：H29. 5. 12～H30. 3. 31

研究課題名：環境研究総合推進費「PM2.5 の成分組成、酸化能、呼吸器疾患ハザードとそのモデル予測に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

森 一安

期 間：H29. 5. 1～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

八木俊政

期 間：H29. 5. 1～H30. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

神代 剛

期 間：H29. 4. 1～H30. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

8. 3. 海外研究機関等からの来訪者等

招聘研究者

Waranyu Wongseeree (タイ 王立モンカット大学)

期 間：平成 29 年 6 月 5 日～平成 29 年 7 月 28 日

用 務：地域気候モデルを用いた東南アジア域における将来気候予測実験に関する共同研究
担当研究者：村田 昭彦（環境・応用気象研究部）

José Rogelio Fabrega Duque (パナマ パナマ工科大学)

期 間：平成 29 年 8 月 20 日～平成 29 年 8 月 24 日

用 務：統合プログラムに係る打ち合わせ
担当研究者：仲江川 敏之（気候研究部）

Pham Thanh Ha (ベトナム ベトナム国家大学)

期 間：平成 29 年 9 月 4 日～平成 29 年 11 月 1 日

用 務：地域気候モデルを用いた東南アジア域における将来気候予測実験に関する共同研究
担当研究者：佐々木 秀孝（環境・応用気象研究部）

Faye Abigail Tolentino Cruz (フィリピン マニラ観測所)

期 間：平成 29 年 9 月 25 日～平成 29 年 11 月 22 日

用 務：地域気候モデルを用いた東南アジア域における将来気候予測実験に関する共同研究
担当研究者：村田 昭彦（環境・応用気象研究部）

Russell L. Elsberry (米国 海軍大学院大学)

期 間：平成 29 年 11 月 15 日～平成 29 年 11 月 17 日

用 務：台風数値予報とデータ同化に関する講演と議論
担当研究者：山口 宗彦（台風研究部）

Stefano Parolai (ドイツ ドイツ地球科学センター 即時警報システムセンター)

期 間：平成 29 年 11 月 23 日～平成 29 年 11 月 30 日

用 務：科研費研究課題「揺れの数値予報：広帯域時刻歴波形のリアルタイム予測」において地震動特性の解析技術に関する議論
担当研究者：干場 充之（地震津波研究部）

Marco Pilz (ドイツ ドイツ地球科学センター 即時警報システムセンター)

期 間：平成 29 年 11 月 23 日～平成 29 年 11 月 30 日

用 務：科研費研究課題「揺れの数値予報：広帯域時刻歴波形のリアルタイム予測」において地震動特性の解析技術に関する議論
担当研究者：干場 充之（地震津波研究部）

Sujittra Ratjiranukool (タイ チェンマイ大学)

期 間：平成 30 年 1 月 14 日～平成 30 年 2 月 15 日

用 務：東南アジア域における地球温暖化による詳細な気候変化予測情報の作成
担当研究者：佐々木 秀孝（環境・応用気象研究部）

J. Alex Huffman (米国 デンバー大学化学生化学部門)

期 間：平成 30 年 2 月 16 日～平成 30 年 2 月 22 日

用 務：バイオエアロゾルシンポジウムおよび茨城大学と IRSN 共同国際ワークショップにおいて、バイオエアロゾルが気象学、気候学、健康へ及ぼす影響について講演
担当研究者：五十嵐 康人（環境・応用気象研究部）

Reinhardt Erwin Pinzon Adames (パナマ パナマ工科大学水理水工学センター)

期 間：平成 30 年 2 月 18 日～平成 30 年 3 月 13 日

用 務：気象研究所非静力学地域気候モデルにより、力学的ダウンスケーリング結果の詳細な解析、および将来予測の不確実性を定量化する力学的ダウンスケーリング実験

担当研究者：仲江川 敏之（気候研究部）

JICA 研修受け入れ

平成 29 年度 課題別研修「気象業務能力向上」

Mr. KHAMPHOUMY Phapasit (ラオス)

Mr. Aung Zwe Myat (ミャンマー)

Ms. IGNACIO Shelly Jo (フィリピン)

Ms. TONOWANE Linda Ruth (ソロモン)

Mr. PEIRIS Thammahetti MudaligeNandalal (スリランカ)

Ms. TATSAWONG Nahathai (タイ)

Mr. SERMSOOK Nawin (タイ)

Mr. KELI Polapola (ツバル)

期 間：平成 29 年 10 月 23 日、10 月 25～26 日

講義担当研究者：和田章義（台風研究部）

見学担当研究者：山崎明宏、工藤 玲（気候研究部）、五十嵐康人、足立光司（環境・応用気象研究部）、楠 研一、小司禎教、足立アホロ、足立 透、南雲信宏（気象衛星・観測システム研究部）

9. 委員・専門家等

ここでは、平成 29 年度に気象研究所の職員が外部機関から委嘱を受けた委員・専門家等（平成 28 年度以前から継続しているものも含む）について、個人別に五十音順で掲載している。

9. 1. 国際機関の委員・専門家等

- | | |
|-------|--|
| 青梨和正 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 気象衛星のための調整グループ (CGMS) * 国際降水ワーキンググループ (IPWG) 共同議長 ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会作業部会 D 委員 |
| 足立アホロ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 対流圏プロファイルに関する国際会議 (ISTP) プログラム委員 |
| 石井雅男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC) 国際海洋炭素連携プロジェクト (IOCCP) 科学運営グループ委員 ・ 北太平洋海洋科学機関 (PICES) 気候－炭素部会委員 ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) 現場観測支援センター (OPS) * 全球船舶海洋観測研究プログラム (GO-SHIP) 推進委員 ・ 国際科学会議 (ICSU) 海洋生物地球化学・生態系研究科学推進委員会 (IMBER-SSC) メンバー ・ 全球海洋観測システム (GOOS) 生物地球化学のための海洋観測パネル (BGCP) 共同議長 |
| 碓氷典久 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクトデータ同化タスクチーム (DA-TT) メンバー |
| 尾瀬智昭 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 気候委員会 (CCI) * 委員 ・ WMO 気候サービスに関する政府間委員会 (IBCS) * メンバー |
| 折笠成宏 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際気象学・大気科学協会 (IAMAS) 国際雲・降水委員会委員 |
| 梶野瑞王 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日中韓大気汚染物質長距離越境移動研究プロジェクト (LTP)・サブワーキンググループ (SWG) 委員 |
| 齊藤和雄 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 福島第一原発事故に関する気象解析技術タスクチーム*委員 ・ WMO 大気科学委員会 (CAS) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) 研究開発プロジェクト (RDP) 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り (TOMACS) 国際科学運営委員会 (ISSC) |
| 酒井 哲 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 測器観測法委員会 (CIMO) * リモートセンシング技術に関する作業部会新しいリモートセンシング技術に関する専門家チームメンバー |
| 小司禎教 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全球気候観測システム基準高層観測網 (GRUAN) *タスクチーム 2 (全球航法衛星システムによる可降水量) 委員 ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会日本側幹事会委員 ・ WMO 大気科学委員会 (CAS) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) 研究開発プロジェクト (RDP) 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り (TOMACS) 国際科学運営委員会 (ISSC) ・ 国際測地学協会研究会 4.3.7 (IAG SG4.3.7「リアルタイム GNSS プロダクト」) メンバー ・ 国際測地学協会合同作業グループ 4.3.8 (IAG JWG4.3.8「気候のための GNSS 大気プロダクト」) メンバー |

- | | |
|---------------|--|
| 高 薮 出 | <ul style="list-style-type: none"> ・ IPCC 第 1 作業部会主要執筆者 (AR6-WG1-LA) ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会作業部会 D 委員 |
| 竹内義明
辻野博之 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風と社会に関する APEC 研究センター 運営委員 ・ 世界気候計画(WCRP)* 気候と海洋の変動、予測可能性、変化 (CLIVAR) 海洋開発パネル(OMDP) 職権上委員 (ex-officio) |
| 対馬弘晃
仲江川敏之 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際津波委員会 委員及びワーキングメンバー ・ IPCC 第 1 作業部会主要執筆者 (AR6-WG1-LA) ・ WMO 気候委員会 (CCI) * 気候リスクとセクター別気候指標に関する専門家チーム共同リーダー ・ 国際気象学・大気科学協会 (IAMAS) 気候に関する国際委員会委員 (ICCL) ・ 台風委員会作業部会 気象作業部会 気候変動影響専門家チームメンバー |
| 高谷祐平 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 基礎システム委員会 (CBS)/気候委員会 (CCI) * 合同現業季節予報専門家チーム(IPET-OPSLs)委員 ・ 世界天気研究計画/世界気候研究計画 (WWRP/WCRP) * 季節内から季節予測プロジェクト(S2S)運営グループメンバー ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営チーム (GOVST) 結合予測タスクチーム(CP-TT)メンバー |
| 橋本徹夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会日本側委員 |
| 藤井陽介 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営チーム (GOVST) コアメンバー ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト観測システム評価タスクチーム (OSEval-TT) 共同議長 ・ 全球海洋観測システム (GOOS) * 2020 年以降の熱帯太平洋観測システムに関する検討グループ (TPOS2020) モデル・データ同化タスクチーム (TPOS2020/M&DA-TT) メンバー ・ CLIVAR/全球観測と統合化に関するパネル (GSOP) 科学運営委員 |
| 眞木貴史 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日中韓三カ国環境大臣会合 砂塵嵐ワーキンググループ 専門委員 |
| 山口宗彦 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 大気科学委員会 (CAS) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) 予測可能性・力学過程及びアンサンブル予報に関する作業部会(PDEF) |
| 和田章義 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 台風委員会 (UNESCSP) Tropical Cyclone Research and Review Associate Editor ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 大気海洋結合モデルによる短期及び中期予報準備チーム (SMRCP-TT) メンバー |

* 世界気象機関 (WMO) に属する委員会等

9. 2. 国内機関の委員・専門家等

- 青梨和正
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球環境変動観測ミッション(GCOM) AMSR 後継機センサチーム委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 GOSAT3 号機搭載用次期マイクロ波放射計 ミッション要求検討委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 EarthCARE 委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 全球降水観測/二周波降水レーダ関連の審査会審査委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 降水観測ミッション(PMM/GPM)利用検討委員会委員
- 足立アホロ
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期気象研究ノート編集委員会委員
- 足立光司
- ・ 神戸大学 非常勤講師
 - ・ 東京理科大学総合研究院大気科学研究部門 客員准教授
- 足立 透
- ・ (公社) 日本気象学会 気象災害委員会委員
- 荒木健太郎
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期気象研究ノート編集委員会委員
 - ・ (公社) 日本雪氷学会 電子情報委員会委員
- 安藤 忍
- ・ (公社) 日本測地学会 編集委員
- 五十嵐康人
- ・ 日本学術会議委員 (総合工学委員会・原子力事故対応分科会 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会 委員)
 - ・ 環境省 森林から生活圏への放射性物質の流出・拡散に関する検討会委員
 - ・ 環境省 特定廃棄物埋立処分施設の運営に関するアドバイザー委員
 - ・ 茨城県 東海地区環境放射線監視委員会委員
 - ・ 岡山県 環境放射線等測定技術委員会委員
 - ・ (公財) 日本分析センター 平成 29 年度大気環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会委員
 - ・ 筑波大学 非常勤講師
 - ・ 早稲田大学 非常勤講師
 - ・ 東京理科大学総合研究院大気科学研究部門 客員教授
- 石井雅男
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 IMBER 小委員会 委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 IOC 協力推進委員会海洋観測・気候変動国内専門部会委員
 - ・ 筑波大学 非常勤講師
- 石井正好
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期 SOLA 編集委員会委員
 - ・ 筑波大学 生命環境系 教授 (連携大学院)
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 スーパーコンピュータ研究利用専門委員会委員
- 石田春磨
- ・ (公社) 日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 石元裕史
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期講演企画委員会委員
- 伊藤純至
- ・ (一社) 日本流体力学会 第 25 期代議員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期講演企画委員会委員
 - ・ 日本流体力学会 「ながれ」編集委員
- 今田由紀子
- ・ 東京大学大気海洋研究所 文科省「統合的気候モデル高度化研究プログラム」「全球規

- 模の気候変動予測と基盤的モデル開発」運営委員会委員
- 入口武史・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 碓氷典久・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 海洋・宇宙連携委員会 End-to-End ユーザグループ「水産・沿岸環境」委員
- ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 海面高度計ミッション (COMPIRA) 委員会委員、沿岸予測コアグループ実務者会合委員、SWOT RA 活動委員
- 遠藤洋和・（公社）日本気象学会 第 39 期気象研究ノート編集委員会委員
- 大島 長・（公社）日本気象学会 第 39 期天気編集委員会委員
- 太田芳文・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- ・国立研究開発法人国立環境研究所 温室効果ガス観測技術衛星 2 号サイエンスチームに係る委員
- 大塚道子・（公社）日本気象学会 第 39 期天気編集委員会委員
- ・国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- 岡本幸三・日本学術会議 地球惑星科学委員会 地球・惑星圏分科会
- 地球観測の将来構想に関する検討小委員会 委員
- ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 PMM/GPM 利用検討委員会、後継ミッション検討分科会
- ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 EarthCARE 委員会委員
- ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球環境変動観測ミッション (GCOM) AMSR 後継機センサチーム委員会委員
- ・国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- 尾瀬智昭・日本学術会議委員（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 MAHASRI・GEWEX 小委員会 委員）
- ・国立研究開発法人海洋研究開発機構 降水観測ミッション (PMM/GPM) 利用検討委員会委員
- 小田真祐子・（公社）日本気象学会 第 39 期教育と普及委員会委員
- 小畑 淳・（公社）日本気象学会 第 39 期気象集誌編集委員会委員
- 梶野瑞王・（公社）大気環境学会 編集委員会委員
- ・筑波大学 生命環境系 准教授（連携大学院）
- 勝間田明男・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会強震動評価部会地下構造モデル検討分科会委員
- ・国立研究開発法人建築研究所 研究評価委員会構造分科会 委員
- 釜堀弘隆・日本学術会議委員（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 MAHASRI・GEWEX 小委員会 委員）
- 川合秀明・（公社）日本気象学会 第 39 期気象集誌編集委員会委員
- 川瀬宏明・文部科学省 科学技術専門化ネットワーク・専門調査員
- ・（公社）日本気象学会 第 39 期気象集誌編集委員会委員
- ・（公社）日本気象学会 第 39 期教育と普及委員会委員
- ・（公社）日本気象学会 第 39 期電子情報委員会委員
- ・（一社）日本気象予報士会 気象予報士 CPD 運営委員会の委員及び認定委員
- 川畑拓矢・神戸大学 非常勤講師（客員准教授）
- 川端康弘・（公社）日本気象学会 第 40 期役員候補者選挙管理委員会委員
- 楠 研一・（公社）日本気象学会 第 39 期講演企画委員会委員

- 工藤 玲
 - ・（公社）日本気象学会 第39期気象災害委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
 - ・東京理科大学総合研究機構総合研究院 客員研究員
- 隈 健一
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会委員長
- 黒田友二
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地域惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 SPARC 小委員会委員
- 小林ちあき
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 IGAC 小委員会 委員
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地域惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 SPARC 小委員会委員
- 財前祐二
 - ・日本エアロゾル学会 日本エアロゾル学会編集委員
 - ・福岡大学産学官連携研究機関福岡から診る大気環境研究所 研究員
 - ・東京理科大学総合研究院大気科学研究部門 客員教授
- 齊藤和雄
 - ・（公社）日本気象学会 第39期正野賞候補者推薦委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39期学術委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 気象集誌編集委員会(TOMACS 特別号)委員
 - ・国立研究開発法人海洋研究開発機構 招聘上席研究員
 - ・国立研究開発法人情報通信研究機構 次世代安心・安全 ICT フォーラム運営委員
- 酒井 哲
 - ・首都大学東京 客員研究員
 - ・レーザ・レーダ研究会 活性化委員
 - ・国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員
 - ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 大気浮遊物質検地ライダー実用化検討委員会委員
- 坂本 圭
 - ・文部科学省 科学技術専門化ネットワーク・専門調査員
- 佐々木秀孝
 - ・みずほ情報総研 地域適応コンソーシアム全国運営委員会委員
- 佐藤英一
 - ・（一社）日本風工学会 風災害研究会委員
 - ・（一社）日本風工学会 代表委員会委員
- 澤 庸介
 - ・（公財）JAL 財団 第3期航空機による地球環境観測推進委員会委員
 - ・国立研究開発法人産業技術総合研究所 客員研究員
- 澤田洋平
 - ・（公社）日本気象学会 講演企画委員会委員
 - ・国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
 - ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 GOSAT3 号機搭載用次期マイクロ波放射計ミッション要求検討委員会委員
- 小司禎教
 - ・（公社）日本気象学会 第39期気象災害委員会委員
 - ・（公社）日本地球惑星科学連合 環境災害対応委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 気象集誌編集委員会(TOMACS 特別号)委員
 - ・地球電磁気・地球惑星圏学会 Earth, Planets and Space (EPS) 特集号編集委員
- 新藤永樹
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 鈴木 修
 - ・（一社）日本風工学会 運営・学術委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39期評議員
 - ・（一財）河川情報センター レーダ雨量計活用による河川情報高度化検討会委員
 - ・国立研究開発法人防災科学技術研究所 「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションハブ運営委員会委員

- ・ 日本風工学会 日本風工学会代表委員会委員
- 清野直子
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期人材育成・男女共同参画委員会委員
 - ・ (公社) 日本地球惑星科学連合 ダイバーシティ推進委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会(TOMACS 特別号)委員
 - ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所 大型降雨実験施設運用委員会委員
- 関山 剛
 - ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 SPARC 小委員会 委員
 - ・ 日本学術会議 環境学委員会・地域惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 IGAC 小委員会委員
 - ・ 茨城県 東海地区環境放射線監視委員会評価部会 専門員
 - ・ 茨城県 緊急時モニタリング計画等検討委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期天気編集委員会委員
 - ・ 日本大気化学会 運営委員会における学会誌編集委員
- 瀬古 弘
 - ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会(TOMACS 特別号)委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 招聘上席研究員
 - ・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員主管研究員
- 高薮 出
 - ・ 環境省地球環境局 中央環境審議会委員
 - ・ 環境省 気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート専門家委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 文科省「統合的気候モデル高度化研究プログラム」「炭素循環・気候感度・ティッピングエレメント等の解明」運営委員会委員
 - ・ 東京大学大気海洋研究所 文科省「統合的気候モデル高度化研究プログラム」「全球規模の気候変動予測と基盤的モデル開発」運営委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期理事
 - ・ (公社) 日本気象学会 2018 春季大会実行委員長
 - ・ 京都大学防災研究所 「統合的ハザード予測」に係る運営委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動予測研究の推進に向けた検討チーム
- 田中泰宙
 - ・ 茨城県 東海地区環境放射線監視委員会評価部会専門員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期電子情報委員会委員
 - ・ 筑波大学計算科学研究センター 共同研究委員会委員
 - ・ 鳥取大学 客員教授
- 津口裕茂
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期教育と普及委員会委員
- 辻野博之
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期 SOLA 編集委員会委員
- 津島俊介
 - ・ (公社) 日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 坪井一寛
 - ・ (公社) 日本気象学会 2018 春季大会実行委員
 - ・ 国立研究開発法人産業技術総合研究所 客員研究員
- 直江寛明
 - ・ (公社) 日本気象学会 2018 春季大会実行委員会事務局長
- 永井智広
 - ・ (公社) 計測自動制御学会 部会運営委員
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員
 - ・ レーザ・レーダ研究会 運営委員
- 仲江川敏之
 - ・ 国土交通省水管理・国土保全局水資源部 水資源分野における気候変動への適応策のあり方検討会委員
 - ・ 環境省 「平成 29 年度気候変動影響評価・適応計画に関する調査・検討業務」気候変動の影響に関する分野別WG：水環境・水資源、自然災害・沿岸域 WG 委員

- ・（公社）日本地球惑星科学連合 ジャーナル企画経営委員
- ・（一社）水文・水資源学会 国際誌編集委員会アドバイザー
- ・（公社）日本気象学会 第39期理事
- ・（公社）日本気象学会 第39期企画調整委員会委員、講演企画委員会委員長、SOLA 編集委員会委員、教育と普及委員会副委員長
- ・東京大学生産技術研究所 研究員
- 南雲信宏
 - ・（公社）日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39期電子情報委員会委員
- 丹羽洋介
 - ・国立研究開発法人国立環境研究所 温室効果ガス観測技術衛星2号サイエンスチームに係る委員
- 庭野匡思
 - ・（公社）日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
 - ・（公社）日本雪氷学会 電子情報委員会委員
 - ・（公社）日本雪氷学会 BGR 編集委員会委員
 - ・北極環境研究コンソーシアム 第4期北極環境研究コンソーシアム運営委員会委員
- 橋本明弘
 - ・（公社）日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39期電子情報委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39期人材育成・男女共同参画委員会委員
- 橋本徹夫
 - ・国土地理院 地震予知連絡会
 - ・文部科学省 「活断層帯から生じる連動型地震の発生予測に向けた活断層調査研究」外部評価委員会委員
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部員
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会委員
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会高感度地震観測データの処理方法の改善に関する小委員会委員
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会地震活動の予測的な評価手法検討小委員会
 - ・文部科学省 地域評価のための活断層調査（関東地域）技術審査専門員
- 林 修吾
 - ・（公社）日本気象学会 第39期天気編集委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39期気象災害委員会委員
- 原田やよい
 - ・（公社）日本気象学会 第39期地球環境問題委員会委員
- 弘瀬冬樹
 - ・（公社）日本地震学会 広報委員会委員
- 藤井陽介
 - ・統計数理研究所 客員教授
- 干場充之
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会強震動評価部会強震動予測手法検討分科会委員
 - ・（公社）日本地震学会 通常代議員
 - ・（公社）日本地震学会 強震動委員会幹事
 - ・国立研究開発法人建築研究所 国際地震工学研修カリキュラム部会委員
- 堀田大介
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 益子 渉
 - ・（公社）日本気象学会 第39期講演企画委員会委員
- 松枝秀和
 - ・国立研究開発法人国立環境研究所 国立環境研究所地球環境研究センター運営委員会委員
- 水田 亮
 - ・（公社）日本気象学会 第39期気象集誌編集委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39期地球環境問題委員会委員

- 水野吉規
 - ・（一社）日本流体力学会 「ながれ」編集委員
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 宮岡一樹
 - ・（公財）地震予知総合研究振興会 地殻活動研究委員会委員
- 村田昭彦
 - ・環境省 「平成 29 年度気候変動影響評価・適応計画に関する調査・検討業務」気候変動の影響に関する分野別WG：産業・経済活動、国民生活・都市生活分野委員
- 毛利英明
 - ・神戸大学 非常勤講師（客員教授）
- 安田珠幾
 - ・（公社）日本気象学会 地球環境問題委員会委員
 - ・日本海洋学会 幹事
- 柳瀬 亘
 - ・（公社）日本気象学会 天気編集委員会委員
- 山口宗彦
 - ・（公社）日本気象学会 第 39 期学術委員会委員
- 山崎明宏
 - ・福岡大学産学官連携研究機関福岡から診る大気環境研究所 研究員
- 山里 平
 - ・内閣府 首都圏における広域降灰災害を検討するための富士山の噴火想定に関する懇談会委員
 - ・（公社）日本地球惑星科学連合 環境災害対応委員会委員
 - ・（特非）日本火山学会 火山防災委員会委員、将来計画委員会委員
 - ・（特非）日本火山学会 火山防災委員会委員
 - ・（特非）日本火山学会 将来計画委員会委員
 - ・（特非）日本火山学会 理事
 - ・（特非）日本火山学会 副会長
- 山中吾郎
 - ・日本海洋学会 評議員
- 山本 哲
 - ・国立研究開発法人国立環境研究所 平成 29 年度気候変動影響観測・監視の推進に向けた検討チーム委員
 - ・（特非）気象システム技術協会 「気象測器研究会」専門家
- 山本剛靖
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会津波評価部会委員
 - ・国立研究開発法人防災科学技術研究所 津波予測技術運営委員会 委員
- 横田 祥
 - ・（公社）日本気象学会 第 39 期講演企画委員会委員
- 吉田 智
 - ・日本大気電気学会 第 25 期運営委員